



麻機遊水地

第2工区だより



2008年(H20)  
10月31日発行

No. 1

発行・問合せ先: 〒422-8031 静岡県静岡市駿河区有明町2番20号 静岡総合庁舎内  
静岡県静岡土木事務所 河川改良課: Tel 054-286-9362 用地課: Tel 054-286-9313  
このたよりは、麻機遊水地第2工区の地権者の皆様方にお届けしている他、インターネット等でも公開しています。

## 麻機遊水地第2工区の事業が始まります



平成20年度から、巴川総合治水対策のひとつである、麻機遊水地第2工区の事業が始まります。この事業は、巴川流域全体に関わる重要な事業であり、行政だけでなく、多くの皆様方のご理解ご協力のもと、連携して進めてまいります。

8月に開催した事業説明会の中で、「説明会には今日しか来れないが、他の日の意見も知りたいので、質疑応答を配布して欲しい。」とのご要望が寄せられました。

県としても、ひとりでも多くの方と情報を共有しながら事業を推進していきたいと考え、このたび、ニュースレター「麻機遊水地第2工区だより」を発行することにいたしました。

今回は、説明会で出されましたご意見・ご質問等を整理し、問答集(Q & A)という形でみなさま方に公表させていただきますので、疑問や不安等の解決の糸口にお役立ていただければ幸いです。

今後も説明会等を開催させていただく予定ですが、このニュースレターにおいても大切な情報を随時提供させていただきますので、よろしくお願いします。

# 「麻機遊水地第2工区事業説明会」を開催しました

平成20年8月に、これから第2工区の実業に着手するにあたり、第2工区全体の地権者約600人の皆様方を対象とした初めての説明会を開催しました。

開催概要は下記のとおりです。

日時：平成20年8月4日(月)、5日(火)、6日(水)、8日(金)の19:00～

場所：静岡市農業協同組合 千代田支店 2F会議室

内容：説明内容(スライドによる)  
・巴川総合治水対策の概要について  
・麻機遊水地第2工区の整備について  
質疑応答(意見交換)



説明会の様子

## 説明会の流れ

河川改良課長の挨拶、担当職員(河川改良課、用地課)の紹介に続き、スライドを用いて30分程度の説明をさせていただきました。説明は、事前に郵送させていただいた説明資料(8頁カラー)のスライドの順番に沿って進めました。

### 【説明の要旨】

昭和49年の七夕豪雨を契機とした巴川総合治水対策では、流域全体で官民一体となった浸水被害を軽減する様々な事業や取り組みがなされ、近年、目に見える形で整備効果が現れてきた。

しかし、多くの資産を抱える巴川流域の安全度は不足している。そのため、麻機遊水地においては、第3工区と第4工区及び現在工事中の第1工区に引き続き、平成20年度から第2工区の整備に取り掛かる。

第2工区(約93ha)を2-1工区(加藤島、安東川、豊地、立石の各エリア)と2-2工区(観山、岳美のエリア)に分割し、2-1工区を約20年かけて先行して優先的に整備する。これは、段階的に整備効果を発揮させること、また、越流堤を先行整備することを目的とした考え方である。

2-1工区を河川予定地に指定する。

2-1工区の地権者の皆様方には、今後様々な調査への協力をお願いしたい。

今後も説明会やニュースレター等を通じて皆様方と情報を共有する。

## 質疑応答(意見交換)

説明の後の質疑応答(意見交換)では、ご意見、ご要望、ご不安、ご提案等を多数いただき、それに対して職員が回答しました。

今回の説明会を通じていただいたご意見は、いずれも貴重なものです。

次ページ以降の問答集を是非お読みください。



# 麻機遊水地第2工区事業説明会 問答集

この問答集は、8月の説明会での皆様方からのご意見を整理させていただき、できるだけ分かり易く問答形式でまとめたものです。



## 目次

### 事業に関するQ & A

- 問1．第2工区を整備する必要があるのでしょうか？もう十分ではないですか？ ..... 4
- 問2．遊水地ではなく、別の方法で対応できないもののでしょうか？ ..... 5
- 問3．事業全体のスケジュールを教えてください。 ..... 6
- 問4．予算規模、資金計画の考え方を教えてください。 ..... 7
- 問5．第2工区はどのような整備をするのですか？ ..... 7
- 問6．整備順序の理由を分かりやすく教えてください。 ..... 8

### 生活設計に関連するQ & A

- 問7．急に聞いた話なので準備ができず困惑しています。 ..... 9
- 問8．生活設計を見直したいので、早く土地を買ってもらいたいです。 ..... 9
- 問9．農業を継続したいので、代替地を用意していただけますか？ ..... 9
- 問10．協力しない場合は、土地の強制収用を行いますか？ ..... 9
- 問11．土地の買収単価を教えてください。 ..... 10
- 問12．工作物や立木などに対する補償はあるのでしょうか？ ..... 10
- 問13．巴川流域遊水機能保全事業補助金はいつまで適用されますか？ ..... 10
- 問14．土地は必ず買ってもらえますか？ ..... 10
- 問15．税金の特別控除について教えてください。 ..... 11
- 問16．用地買収着手に向けた当面のスケジュールを教えてください。 ..... 11

### その他のQ & A

- 問17．観山中学校周辺の区域はどうなりますか？ ..... 12
- 問18．市街化区域としての土地利用がふさわしいのではないのでしょうか。 ..... 12
- 問19．上土という名称がどこにも出てこないのは寂しい感じがします。 ..... 12
- 問20．遊水地の整備により、周辺ではカモの被害が増えたようです。 ..... 12

#### 補足資料1：巴川総合治水対策の必要性

- ・巴川流域内は莫大な資産を抱えている！
- ・想定浸水区域が極めて広範囲に及ぶ！

#### 補足資料2：麻機遊水地第2工区の規模

- ・洪水の分担
- ・麻機遊水地第2工区の規模

日常生活で使う『洪水』は、河川の水が増加して溢れて氾濫したり、土地や家が浸水することを意味しています。本ニュースレターでは、『洪水』とは河川の水が増えることを表しています。

## 問1. 第2工区を整備する必要があるのでしょうか？もう十分ではないですか？

大谷川放水路の通水や麻機遊水地第3、第4工区の使用などにより、洪水に対する安全度が飛躍的に高まったことは、流域にお住まいの皆様方がいちばん実感しているところかと思えます。しかしながら、流域の安全度はまだまだ十分ではなく、以下の点から引き続き、段階的な整備が必要と考えています。

### 【現在の整備水準】

概ね5年に1度発生が予想される、時間最大58mmの降雨による洪水を安全に流せる能力が確保され、現在概ね10年に1度の、時間最大69mm対応の整備を実施中。



### 【さらなる整備の必要性】

現在の整備状況のもとで、依然として浸水被害が発生している。

流域に多大な資産を抱え、ひとたび氾濫した場合、壊滅的被害が発生する危険性がある

河川の重要度は県下最大級で、将来概ね50年に1度の、時間最大92mm対応を目指す。

局地的集中豪雨が多発する傾向にある。(想定外の降雨に見舞われる可能性がある)

8月の説明会資料P4,6,10,11及び本誌巻末P13,14の補足資料1をご参照ください。



愛宕霊園付近 葵区沓谷

### 全国的な降雨の傾向



1時間降雨量における年間延べ件数(全国アメダス地点 約1,300箇所より)  
(出典:国土交通省河川局)

## 問2 . 遊水地ではなく、別の方法で対応できないものでしょうか？

巴川流域の治水対策では、次の2つの対策を併せて実施する、総合治水対策を実施しています。

### 対策 : 河川対策

河川施設を整備し洪水を処理する能力を高める河川対策

### 対策 : 流域対策

流出抑制施設の整備などにより河川へ流れ出る量を抑制する(集中させない)流域対策

の河川対策としては、巴川が「非常に勾配が緩い都市河川」である特性から、下記の組み合わせによる方式を採用しています。

狭さく部の川幅を拡げたり、河床を掘下げる河道改修  
洪水の抜け道である大谷川放水路の築造  
洪水を溜める麻機遊水地・大内遊水地の整備

河川対策でも対応できない部分を、の流域での雨水貯留や土地利用の指導などの流域対策で補うこととしています。

これは、考えられるあらゆる手段を用いて、流域全体で洪水被害を軽減していくものです。

また、麻機遊水地第2工区に替わる別の治水対策案(河道改修、放水路、地下貯留、ダム)についても、比較検討した結果、実現性や経済性から、麻機遊水地第2工区の整備が最も有利で、費用対効果が期待できるものと評価しています。

8月の説明会資料 P5, 12 及び本誌巻末 P15 の補足資料 2 をご参照ください。



問3. 事業全体のスケジュールを教えてください。

第2工区の総面積は約93haと広大なため、多額の事業費と長期間に渡る整備が予想されます。

事業の効率的な執行の観点から、第2工区は、道路などで工区を分割し、更に優先するエリアを集中的に整備（用地買収と工事）します。

完成したエリアから順次使用していくことで段階的に整備効果を発揮させます。

具体的には、全体を2-1工区と2-2工区の2つに大きく分け、2-1工区は更に4つのエリアに分けます。

川から水を引き込む越流堤に接する2つのエリアを、加藤島エリア・安東川エリア(右図の青色)とし、最優先で整備します。

続いて、豊地エリア・立石エリア(右図の黄色)を整備していきます。

なお、整備期間は現時点で流動的ですが、今後の予算見通しなどから、2-1工区を概ね20年と想定しています。

今後、少しでも早い完成を目指し、期間を縮めるよう努めてまいります。



工区		エリア	民地面積 官地等を除く	事業期間		
				約10年	約10年	以降
第2工区	2-1工区	加藤島 安東川	14.2ha	→		
		豊地 立石	16.5ha		→	
	2-2工区	観山 岳美	33.7ha			→

また、説明会時に目安として、「加藤島エリア・安東川エリアで10年程度」「2-2工区の整備は2-1工区整備完了後から20年程度」と説明したのは、2-1工区を20年で整備する前提で各エリアの用地取得面積から想定したものです。

8月の説明会資料P14,15をご参照ください。

### 問4．予算規模、資金計画の考え方を教えてください。

麻機遊水地第2工区は、引き続き、国庫補助事業で整備します。

平成20年度の事業費は6億5千万円（内、用地費は3億5千万円）です。

第1工区的最盛期には、年間約40億円の予算規模でしたので、今後、静岡市とともに皆様方のご支援を頂き、予算の拡大確保に努めてまいります。

### 問5．第2工区はどのような整備をするのですか？

先行して整備する2-1工区は、地下水位まで掘り下げ、最大限の遊水機能の確保に重点を置きます。

また、優先的に整備する予定の、加藤島エリア・安東川エリアには越流堤を設けます。

第1工区と第3工区は、静岡市の協力のもと、公園機能を併せもった多目的遊水地の位置付けがされています。しかし、第2工区は、今のところ公園など静岡市の面的な利用計画がないことから、治水施設として整備します。

また、葵区下(しも)と加藤島を結ぶ主要地方道 山脇大谷線は、現在整備が進められていますが、静岡市からは、流通センターから西側に延びる道路を、更に西へ延伸する構想も聞いています。

道路等の公共施設は、遊水機能を確保できることを前提に静岡市と協議して必要最小限に止めたいと考えています。

## 問6. 整備順序の理由を分かりやすく教えてください。

麻機遊水地の計画は、巴川、七曲川、浅畑川、安東川の洪水を調節することを目的とし、最終的に想定する規模の洪水が下流河川で溢れないようにすることが目的です。

第2工区では、巴川と安東川の2つの河川の洪水を調整するため、それぞれの河川に隣接する1箇所ずつに洪水を流入させる越流堤を設けることが前提となります。この越流堤を設けるエリアを最優先で整備することになります。

### 【巴川の越流堤を設けるエリア】

加藤島エリアと豊地エリアが考えられますが、下記の理由から加藤島エリアの整備を最優先します。

理由：豊地エリアは巴川との間に主要道路を挟んでいる。

理由：左岸(下流に向かって左側)には第3工区の越流堤があることから、左右への水の引き込みが不安定となるため適さない。

### 【安東川の越流堤を設けるエリア】

安東川に接するエリアは安東川エリアしかありません。安東川エリアの整備を最優先することになります。

以上のことから、2-1工区の内、越流堤が計画されている加藤島エリアと安東川エリアの整備を最優先し、引き続き豊地エリアと立石エリアを整備します。

8月の説明会資料P15をご参照ください。





### 問7. 急に聞いた話なので準備ができず困惑しています。

平成20年8月上旬の説明会のご案内から開催までの期間が短く、皆様方にはご迷惑をお掛けして申し訳ありませんでした。

昭和49年の七夕豪雨を契機に、昭和57年から大谷川放水路、巴川の狭窄部、麻機遊水地の第4工区、第3工区、第1工区と順次整備を進めさせていただいています。この度、国との調整がようやく整い、第2工区の整備に着手できることになったことを受けての説明会でした。

第2工区は、平成11年度に関連部農会役員への事業計画の説明会を、また10学区の自治会及び関連部農会を構成員とする「巴川総合治水対策促進期成同盟会」の通常総会では、平成12年度から、第1工区、第2工区を含めた約200haを明示した資料を配布して事業の説明をしてきました。

また、平成19年8月の期成同盟会総会では、第2工区に着手することはお話させていただいておりましたが、地権者の皆様方に正式にご案内するのは今回が初めてです。

本事業は、流域の皆様方だけでなく、第2工区の地権者の皆様方にとっては、大切な財産、生活設計に大きく関わることでありますので、今後も継続的にお話をさせていただく機会を設けたいと考えています。

本事業の趣旨・目的をご理解いただき、今後ともご協力をお願いします。

### 問8. 生活設計を見直したいので、早く土地を買ってもらいたいです。

問3のスケジュールと整合していることが前提となりますが、早期に売却する意向をお持ちの方の土地は、なるべく早く買収できるように努力していきたいと考えています。

### 問9. 農業を継続したいので、代替地を用意していただけますか？

代替地を求められる場合、位置・形状・面積・単価などにそれぞれ固有の事情があるため、基本的には地権者の皆様方ご自身で代替地を探していただくこととなりますが、県も、できる限りの協力をしたいと考えています。

なお、代替地をご提供くださる方は、適用条件を満たせば譲渡所得について特別控除の適用を受けることができます。(関連：問15)

### 問10. 協力しない場合は、土地の強制収用を行いますか？

皆様のご理解・ご協力の下、話し合いでの買収が進められるよう努力してまいります。ご協力がいただけない場合には、土地収用法の適用も考えられます。

### 問 11. 土地の買収単価を教えてください。

現在、2-1工区の不動産鑑定評価を行っています。

今後、客観的妥当性をもった、買収時点での適正な買収単価で皆様方にご協力をお願いしていく予定です。

まず、\*平成20年12月中旬には、2-1工区の地権者を対象とした説明会の中で、標準単価の公表及び説明を行いたいと考えています。

個別の交渉により買収単価が変動することはありませんが、事業が長期に渡るため、地価変動等の影響により買収単価が変動することは想定されます。

\* 説明会は、「平成21年1月中旬」に日程を変更しました。

### 問 12. 工作物や立木などに対する補償はあるのでしょうか？

土地に存在する工作物や立木などの物件が補償の対象となります。

補償金は、「公共用地の取得に伴う損失補償基準要綱」に基づき、公正に算出されます。

8月の説明会では、平成20年度から、官と民との境界（県道や市道、河川、水路と民有地の境）の確認とともに、工作物や立木の物件調査に入ることについて説明し、参加者の皆様方からは了解をいただいています。

今後、2-1工区（加藤島エリア・安東川エリア）から順次調査をさせていただく予定です。

また、調査は来年度に跨ることがありますのでご理解願います。

### 問 13. 巴川流域遊水機能保全事業補助金はいつまで適用されますか？

水田などの土地の盛土、嵩上げ等の形状変更しない土地利用者に対して補助金を交付する「巴川流域遊水機能保全事業補助金」は、昭和59年度から開始し、24年間実施してまいりました。今後も財政事情が許す限り継続していく予定です。

なお、河川予定地に指定されましても、河川管理者の許可により盛土は可能ではありますが、今後も引き続き盛土抑制にご協力いただける方につきましては、所有権が移転するまで、補助金を交付する予定です。

(回答：静岡市建設局土木部河川課 巴川総合治水対策室)

問合せ先：静岡市建設局土木部河川課 巴川総合治水対策室

Tel：054-221-1449

### 問 14. 土地は必ず買ってもらえますか？

麻機遊水地第2工区では、土地を買収して整備する方法を基本に考えています。

## 問 15 . 税金の特別控除について教えてください。

公共事業に協力いただくと、租税特別措置法に基づく税制上の優遇措置を受けることができます。

事業用地を譲渡した場合の特別控除

- ・ 買取申出後 6 ヶ月以内に契約が成立すると、譲渡所得について最高 5,000 万円の特別控除。(原則 1 事業 1 回のみ)

代替地を譲渡した場合の特別控除

- ・ 代替地をご提供くださる方に対しては、譲渡所得について最高 1,500 万円の特別控除。(注意：県を含む 3 者で譲渡契約を行う場合のみ)

なお、他に課税の特例として、代替資産取得特例などもありますが、適用条件が個々に異なることから、詳細は所轄税務署にご相談いただくこととなりますのでご注意ください。

## 問 16 . 用地買収着手に向けた当面のスケジュールを教えてください。

用地買収のスケジュールは、問 3 の事業スケジュールに基づき、年度ごとに年度予算額相当分を順次買収させていただくこととなります。

2 -1 工区に加藤島エリア・安東川エリアが最初で概ね 10 年間、続いて 2 -1 工区の豊地エリア・立石エリアが概ね 10 年間で想定しています。

事業に関してのご理解が得られれば、平成 20 年度から用地買収を始める計画です。

まず、\*平成 20 年 12 月中旬に 2 -1 工区の地権者の皆様方を対象に説明会を予定しています。この説明会では、土地の標準単価を説明させていただき、その後、平成 21 年 1 月からは用地交渉に入りたいと考えています。

なお、用地買収に先立ち、2 -1 工区は河川予定地に指定させていただきます。

河川予定地に指定された場合、土地の形状変更、工作物の新改築について行為が制限されますが、現在と同等な利用を継続するには支障がありません。

河川予定地の指定とは、河川法の規定により行う手続きです。

指定の目的：事業に先立ち、将来河川となる区域を指定（県公報に告示）し、皆さんに知っていただく。

行為の制限：予定地内での土地では、以下のような行為が制限されます。

- ・ 掘削、切土、盛土など土地の形状を変更すること。  
(ただし、耕耘及び地表から 1 m50cm 以内の掘削または切土は除く。)
- ・ 工作物の新改築  
(ただし、短期の仮の工作物など、河川管理者の許可を受ければ可能です。)

なお、用地買収時、公共事業に協力した土地の証明になり、税金の特別控除の参考資料になります。

\* 説明会は、「平成 21 年 1 月中旬」に日程を変更しました。

## 問 17. 観山中学校周辺の区域はどうなりますか？

観山中学校は、暫定的に遊水地の区域に含まれていますが、2-2工区の事業化の時点で、静岡市教育委員会と協議の上で正式に決定します。

現在2-2工区に含まれている住宅の皆様方等へは、詳細な設計を行った結果、区域に入るか入らないかをお知らせすることになります。

## 問 18. 市街化区域としての土地利用がふさわしいのではないのでしょうか。

巴川の抜本的な改修計画は、七夕豪雨を受けて昭和57年に策定されています。

その中で、麻機低地は巴川の上流部に位置し、従来遊水機能を有していることから、流域の皆様方の生命・財産を水害から守るために重要な機能を担う遊水地として計画しており、その後、段階的整備の節目などの計画の見直しにおいても、本地区の遊水地の必要性を再確認しています。

また、静岡市（旧静岡市、旧清水市）のまちづくりの計画でも、安全・安心のまちづくりの視点から、一貫して、本地区を遊水地として活用する方針に変わりはありません。

## 問 19. 上土という名称がどこにも出てこないのは寂しい感じがします。

現在の名称は、浅畑沼の由来等から総称して“麻機遊水地”としたのではないかと推測され、かつての静岡北部土地改良区の工区名をつけています。

今後、皆様方から永く愛される遊水地となることを願い、親しみやすい愛称等をつけることも考えられます。

## 問 20. 遊水地の整備により、周辺ではカモの被害が増えたようです。

今回の説明会で報告をいただきましたので、関係機関と検討していきたいと思えます。

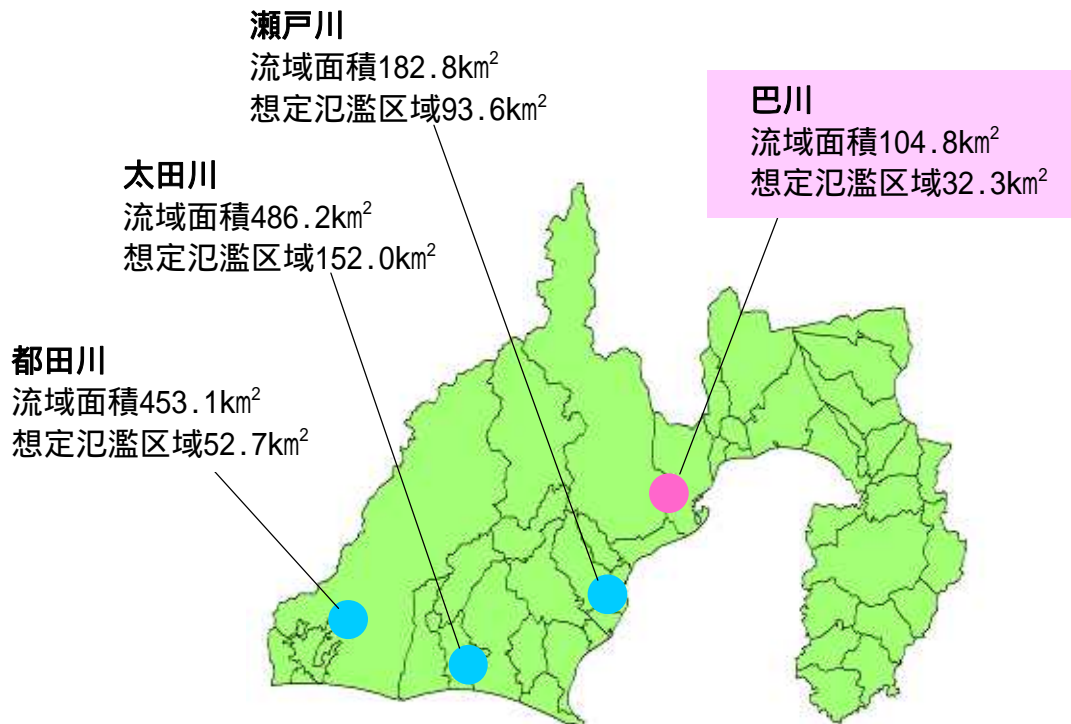


カモの群

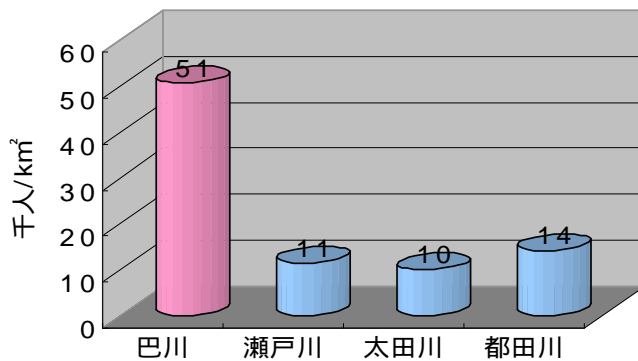
# 補足資料 1 : 巴川総合治水対策の必要性 (その1)

## 巴川流域内は莫大な資産を抱えている!

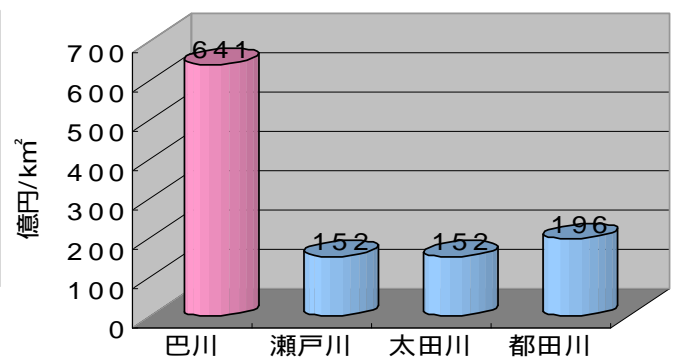
静岡県内の主要2級河川を比較すると、巴川は**資産の集中**が著しいことがわかります。



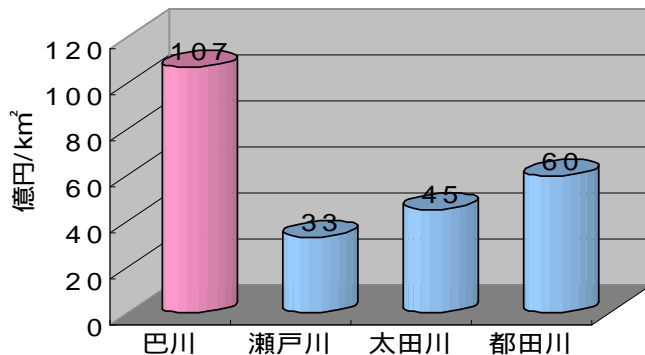
想定氾濫区域内 人口密度



想定氾濫区域内 一般資産



想定氾濫区域内 製品出荷額



グラフは全て想定氾濫面積で割った値

### 【巴川の現状と課題】

なお、比較した県内3河川の将来目標も1/50対応です。

他の河川と比べても、水害に対する被害想定が極めて高く、将来的に、50年に1度発生が予想される降雨に対する治水安全度の確保が必要となっています。

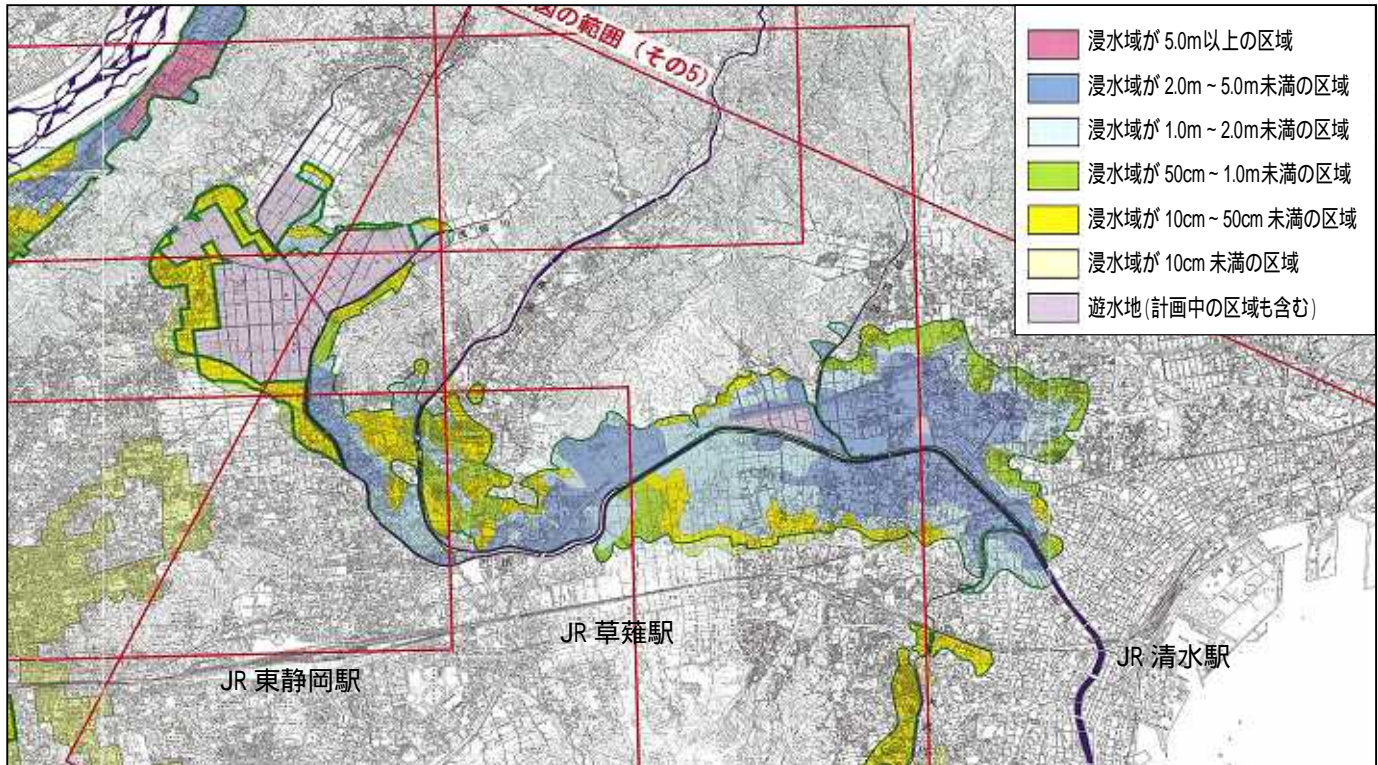
# 補足資料 1 : 巴川総合治水対策の必要性 (その2)

## 想定浸水区域が極めて広範囲に及ぶ!

1日の総雨量326mm [50年に1度発生が予想される規模]の大雨が降った場合、流域に多大な資産を抱える巴川では、大きな浸水被害が予想されます。

### 静岡市洪水避難地図(全体図)【洪水ハザードマップ】

この図は、平成16年3月に静岡市が作成し公表した『洪水ハザードマップ』の抜粋です。



#### 注意事項

図は、巴川で堤防が決壊したり、越水したりする可能性がある地点を複数箇所設定し、それぞれの箇所で堤防が決壊したり越水した場合に浸水が想定される範囲や深さを求め、それらの結果をすべて重ね合わせて、浸水範囲及び浸水深が最大となる場合を表示しています。

したがって、実際には図面に示した範囲がすべて同時に浸水することはありません。

### 七夕豪雨による被害 (昭和49年7月7日)



静岡市葵区加藤島地先



静岡市葵区漆山地先



静岡市葵区城北地先



静岡市葵区東千代田(三)・竜南地先

# 補足資料 2 : 麻機遊水地第 2 工区の規模

## 洪水の分担

巴川では、概ね50年に1度発生が予想される時間最大92mmの降雨による洪水を安全に流すことを将来の整備目標としています。

洪水をさまざまな施設で分担し、処理します。

全流出量		1,680 m <sup>3</sup> /s	92mm/hrの降雨による流出量
分担する流出量	巴川本川	920 m <sup>3</sup> /s	
	大谷川放水路	400 m <sup>3</sup> /s	
	麻機遊水地(第1～5工区)	200 m <sup>3</sup> /s	貯留量約350万m <sup>3</sup> 、面積200ha
	大内遊水地	100 m <sup>3</sup> /s	貯留量22万m <sup>3</sup> 、面積12.5ha
	流域貯留施設	60 m <sup>3</sup> /s	校庭貯留等、貯留量92.5万m <sup>3</sup>

## 麻機遊水地第 2 工区の規模

第2工区は、想定する上記洪水時に、約160万m<sup>3</sup>の洪水を貯留することで、巴川の上土地点で約35m<sup>3</sup>/sの負担を軽減します。

貯留容量を確保するために93haの面積が必要です。

### Q1. 遊水地の池底を深く掘れば、93haもの整備は必要ないのではないですか？

A1 : 地下水位(常時の水面の高さでT P+5.3m)より低い部分は、貯留容量として見込めないことから、計画の面積が必要となります。

T Pとは、東京湾平均海面のことです。

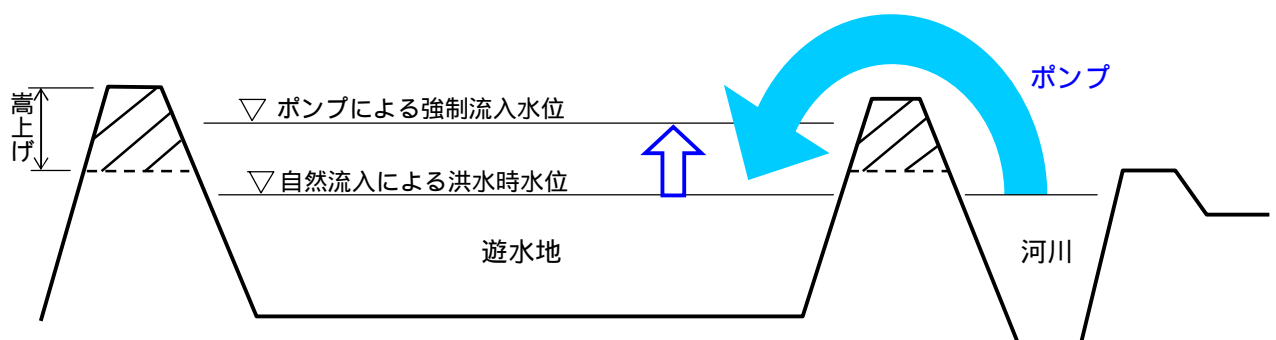
### Q2. 遊水地の堤防を高くし、ポンプで水を入れれば、面積が小さくてすむのではないですか？

A2 .ポンプにより強制的に遊水地へ水を入れる方法は、以下の問題が懸念されることから採用しません。一般的な自然流入・流出方式が最適と考えます。

ポンプ施設は人為的な操作によるもので、自然(多様な雨の降り方)を相手にした操作は非常に煩雑となり、確実性に欠けます。

安定的にポンプを稼働するためには、一度河川の水を引き込む池が必要となり、ポンプと併せ、相当大規模な施設が想定されます。

遊水地の水位を人為的に上げることは、周辺の用排水不良を助長します。



## ～ お 願 い ～

8月の説明会は、各調整等の諸事情により、ご案内が直前になってしまったこと  
をお詫び申し上げます。

今後も、出来る限りこのニュースレターを有効に使い、情報の伝達や共有を図  
ってまいります。

説明会のご案内やこのニュースレターの送付データは、平成20年6月の土地登  
記簿に記載された内容を基本とさせていただいておりますが、登記簿情報は必ず  
しも現実の住所と一致しているとは限らないため、皆様方のご指摘等により、随  
時送付データを最新のデータに修正したいと考えています。

今後も、各種配布物を確実に皆様方のお手元にお届けするために、

- ・ 土地などの名義を変更された方
- ・ 住所を変更された方
- ・ 宛先或いは氏名に誤りがある方

は、ご面倒でも下記までお知らせくださいますよう、よろしくお願いいたします。

同時に、仮登記の方、共有の方、相続人が複数おられる方、代理人を立ててお  
られている方等は、それぞれに関わる方との連絡を十分取り合ってくださいませ  
よう、重ねてお願いします。

**本事業に関して、ご質問、ご提案がありましたら、  
下記までご連絡ください。**

発行・問合せ先

〒422-8031 静岡県静岡市駿河区有明町2番20号 静岡総合庁舎内  
静岡県静岡土木事務所

河川改良課: Tel 054-286-9362 Fax 054-286-9398

用地課: Tel 054-286-9313 Fax 054-286-9375

Eメール: shizudo-soumu@pref.shizuoka.lg.jp

ホームページは、静岡土木事務所内の「ともえランド」になります。

「ともえランド」で検索してください。

URL: <http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/shizuoka/tomoegawa/>

